

関東鉄工

適用範囲		モデル名	KV40DSi		
適用範囲		適用号機	40001~		
適用範囲		車体質量(空車状態) kg	3670		
区分	検査箇所	運用項目 ※測定条件、方法	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	回転速度ハイアイドルリング	min <sup>-1</sup>	2400	
		ローアイドルリング	min <sup>-1</sup>	1200	
		(冷却水温)	°C	(70 ~ 80)	
		(作動油温)	°C	(60 ~ 70)	
		潤滑油圧	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	300 ~ 440 (3.0 ~ 4.5)	
		(油温)	°C	(85 ~ 90)	
		(回転速度)	min <sup>-1</sup>	(2400)	
		弁すき間 吸気弁	mm	0.18 ~ 0.22	
		排気弁	mm	0.18 ~ 0.22	
		(測定時の条件)		(冷間時)	
		圧縮圧力	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	2950 ~ 3230 (30 ~ 33)	
		(冷却水温)	°C	(暖機後)	
		(回転速度)	min <sup>-1</sup>	(290)	
走行性能		最高走行速度	km/h	12	
		(測定方法・条件)		(平地走行)	
油圧・走行装置	油圧ポンプ	ポンプ吐出量	L/min	76.32	
		ポンプ吐出圧	Mpa	34.5	
			(油温)	°C	(50 ~ 100)
	クラッチ又は トランスミッション油圧	ミッション潤滑油圧	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	— (—)	
		クラッチ油圧	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	— (—)	
		ミッション油量	°C	—	
			エンジン回転速度	min <sup>-1</sup>	—
	プロペラシャフト 又はドライブ チェーン	シャフトカップリング	N・m	—	
		ボルト締め付けトルク	(kgf・m)	(—)	
			チェーンたるみ量	mm	—
		チェーン押し付け力	N (kgf)	— (—)	
HST側ミッション	油圧回路のリリーフセット圧	MPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	34.5 (352)		
		油温	°C	50 <sup>±5</sup>	
ホイール又は タイヤ	ホイールクリップナット	N・m	—		
	締め付けトルク	(kgf・m)	—		

振動ローラー(タンデム型)

適用範囲		最大荷重 t	4.0	
適用範囲		型式	KV40DSi	
適用範囲		適用号機	40001~	
区分	検査箇所	運用項目 ※測定条件、方法	単位	検査基準値
操 向 装 置	最小旋回半径	最小旋回半径又は最大切り角度	m	4.3
			度	—
装 置	パワーステアリン グ装置	油圧回路のリリーフセット圧力	MPa	15.5
			(kgf/cm <sup>2</sup> )	(158)
		油温	°C	50 <sup>±5</sup>
制 動 装 置	走行ブレーキ	HSTネガティブブレーキの場合は その旨を表示		HSTネガティブブレーキ (駐車ブレーキ兼用)
		ペダル遊びのストローク	mm	20
		踏込みストローク又は踏込み角度	mm 度	65 —
		制動能力(制動距離：以内)	m	3
		制動初速度	km/h	10
		[ドラム式]		—
		ドラムとライニングのすき間	mm	—
		ドラムの内径	mm	—
		ライニングの厚さ	mm	—
		バックプレート取付けナット締 付トルク	N・m (kgf・m)	— (—)
	[ディスク式]		—	
	ディスクの厚さ	mm	—	
	パッドの厚さ	mm	—	
	ディスク取付けナット締付トルク	N・m (kgf・m)	— (—)	
駐 車 ブ レ ー キ	制動能力(停止状態保持角度)	レバー操作式、スイッチ操作式は その旨を表示	度	11.3
				(スイッチ式)
			レバーストローク	mm
	ドラムとライニングのすき間	mm	—	
作 業 装 置	防振ゴム	取付けボルト締め付けトルク	N・m	157
			(kgf・m)	(16)
起 振 装 置	油圧回路リリーフセット圧	油温	MPa	17.5
			(kgf/cm <sup>2</sup> )	(178)
		油温	°C	50 <sup>±5</sup>
特記事項			機械形式	タンデム型 振動ローラー
			エンジン形式	クボタ D1803-CR-YDM

注) 数値は新車基準値を示す